

やまがた 議会だより

平成28年10月

No. 118

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 平沢恒雄）
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



山形保育園 園児の歌のプレゼント

- | | |
|----------------------|----------------|
| ■第3回議会定例会／主な議案……………2 | ■一般質問 ……………4～7 |
| ■平成27年度決算の概要 ……………3 | ■議会日誌 ……………7 |
| ■東筑摩郡村議会議員大会 ……………3 | ■私の一言 ……………8 |

平成28年 第3回 議会定例会

第3回定例会が9月6日開会し16日まで11日間開催された。

平成27年度一般会計決算など全16件（報告、同意、諮問各1件、認定7件、議案3件、発議3件）を審議しいずれも全会一致で可決した。

任期満了に伴う教育委員任命と、人権擁護委員候補者の推薦に同意を求め人事案に同意、平成27年度一般会計決算は、歳入38億1千5百34万円、歳出36億1千4百12万円、翌年度繰越財源を除いた実質収支は1億6千4百68万円の黒字となった。

請願、陳情関係は義務教育において35人学級の推進、私立高校への公費助成の拡大と教育環境の改善、子ども・障害者等の医療費窓口無料化を求める請願、陳情を採択し、意見書を内閣総理大臣、衆参議長、長野県知事等へ提出することを可決した。一般質問は10人が登壇し、2日間にわたり村政全般について質問した。

（増澤 武志）

決算認定

○平成27年度一般会計歳入歳出決算認定について

○平成27年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

○平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○平成27年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

○平成27年度清水高原簡易水道特別会計歳入歳

出決算認定について

○平成27年度水道事業会計決算認定について

○平成27年度下水道事業会計決算認定について

補正予算

○平成28年度一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出総額から1億2千8百29万9千円減額し総額を36億3千5百55万1千円とするもの。

防災行政無線

事業費の確定により2億6千4百6万円の減額、これにより、地方債限度額4億9千60万円から2億8千4百90万円減額し2億5百70万円としたもの。

スカイランドきよみず

客室用エアコンの更新に1千12万円、雨水被害に伴う損失補償金に3百30万円支出するもの。

災害復旧

雨水被害に伴い森林整備計画調査委託料に百53万円、関連で雨水により倒木した木材を百46万円で売却した。

桜の樹の保護、保存

小学校のシンボル、枝垂れ桜の安全確保、樹勢回復等に83万円、清水寺の行基桜（村文化財）の倒木回避、樹勢回復等の補助金として33万円

報告

○第4号

平成27年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

同意

○第3号

教育委員会委員の任命について

森井陽子さん（下大池）を同意

任期平成28年10月1日～平成32年9月30日

請願

○第2号

国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願を採択

○第3号

子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める長野県への意見書の提出を求める請願を採択

陳情

○第3号

私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書を採択

発議

請願及び陳情について意見書を議員発議により提出することを採択

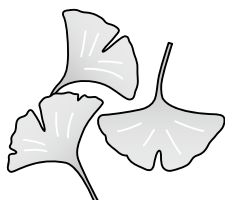
諮問

○第1号

人権擁護委員候補者の推薦について

河西廣志氏（小坂）の推薦に同意

任期平成29年1月1日～平成31年12月31日



平成27年度
決算一般会計

36億1,412万円に

一般会計 1億6,468万円の黒字決算

平成27年度 各会計の決算概要

(単位：円)

| 区分 | 歳入 | 歳出 | 差引額 | 実質収支額 |
|--------------|---------------|---------------|-------------|-------------|
| 一般会計 | 3,815,341,361 | 3,614,125,442 | 201,215,919 | 164,687,919 |
| 国民健康保険特別会計 | 1,272,388,441 | 1,236,625,690 | 35,762,751 | 35,762,751 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 64,392,246 | 64,268,346 | 123,900 | 123,900 |
| 介護保険特別会計 | 686,527,669 | 677,320,738 | 9,206,931 | 9,206,931 |
| 清水高原簡易水道特別会計 | 17,135,380 | 15,391,505 | 1,743,875 | 1,743,875 |

水道事業会計 損益計算書

(税抜き・単位：円)

下水道事業会計 損益計算書

(税抜き・単位：円)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

| | |
|-------------|-------------|
| 1. 営業収益 | 185,756,635 |
| 2. 営業費用 | 151,688,360 |
| 営業利益 | 34,068,275 |
| 3. 営業外収益 | 12,331,624 |
| 4. 営業外費用 | 12,180,999 |
| 経常利益 | 34,218,900 |
| 5. 特別損失 | 115,418 |
| 当年度純利益 | 34,103,482 |
| 前年度繰越利益剰余金 | 16,550,611 |
| 当年度未処分利益剰余金 | 50,654,093 |
| 減債積立金の積立 | 1,000,000 |
| 建設改良積立金の積立 | 25,000,000 |
| 翌年度繰越利益剰余金 | 24,654,093 |

| | |
|-------------|--------------|
| 1. 営業収益 | 147,544,987 |
| 2. 営業費用 | 342,616,127 |
| 営業利益 | -195,071,140 |
| 3. 営業外収益 | 284,564,414 |
| 4. 営業外費用 | 76,567,546 |
| 経常利益 | 12,925,728 |
| 5. 特別損失 | 60,197 |
| 当年度純利益 | 12,865,531 |
| 前年度繰越利益剰余金 | 0 |
| 当年度未処分利益剰余金 | 12,865,531 |
| 翌年度繰越利益剰余金 | 12,865,531 |

財政力指数（3年平均）は0.41で前年度より0.02ポイント改善された。単年度は0.42で平成18年度以来の健全数値となった。

経常収支比率は76.5%で前年度より3.4%下回った。ここ10数年で最も低くなった。人件費率は22.0%である。

実質公債費比率（3年平均）は2.9%となり前年度より0.7%低くなった。単年度は3.1%で前年度より0.7%高くなった。これは保育園、子育て支援センターの起債の償還が始まったことによる。

公債費負担比率は10.9%と前年を1.0%下回った。

地方債現在高は27年度末で28億5,972万円で前年度比5,862万円減少した。新たな借入額より、繰上返済等により返済額が多くなったもの。

解説

- ①財政力指数：財政力を示す指標。1に近いほど財政力が強く財政的に豊かといえる。1を超えると国から地方交付税が交付されなくなる。
- ②経常収支比率：村の支出の中には、毎年必ず払わなければならない経費（人件費、扶助費、施設の維持管理費、公債費等）がある。毎年入ってくる一般的収入（税金、施設の使用料等）の中から払う経費が、収入の何%を占めるかというもの。この経費が多くなると自由に使えるお金が少なくなり、新しい事業に取り組めなくなる。財政の弾力性を示すもの。
- ③実質公債費比率：毎年入ってくる収入（標準財政規模）に対する借金を返済するのにどれだけ使ったかを示すもの。18%を超えると県の許可、25%を超えると借入に制限を受ける。
- ④公債費負担比率：村の一般財源総額のうち、借金でまかなう金額の割合のこと。財政構造の弾力性を示す指標。

地域住民の代表として
議会活性化と
行財政改革に取り組み

第67回 東筑摩郡村議会議員大会

去る9月2日、東筑摩郡村議会議員大会が、麻績村地域交流センターで東筑5村の議会議員49名の出席で開催された。

大会では、山形村平沢恒雄議員を大会議長に選出開始し、議案はそれぞれの村が抱える道路整備関係等の要望が出された。

山形村提出議案は昨年が続いて、歩道整備（主要地方道塩尻鍋割穂高線上竹田地区）の早期完成を要望する議案を、新居禎三議員が趣旨説明を行い全会一致で可決された。

議事後は、かつて善光寺街道の宿場であった麻績宿本陣の17代当主の臼井良雄さんから、麻績宿の江戸時代の自治などを古文書解析により紹介を頂いた。

中でも、かつて国鉄篠ノ井線のルート計画がされた際、村の有力者たちが集まり、自費で技師を雇い計画案を作成し、鉄道庁線路取り調べ係に持ち込み、鉄道庁や国会にも請願を行ない、明治27年の国会で他の案を退け現篠ノ井線のルートが決定したという事を聞き、当時の麻績の人たちの努力と行動力に感銘を受けた。



(新居 禎三)

そこが聞きたい

一般質問

9月議会定例会は8・9日の2日間に一般質問が行なわれ、村政全般に亘って10人が質問した。

山形保育園の保育士の確保と処遇は

村長 現場の状況に応じて確保していく



新居 禎三 議員

Q 国会での「保育園落ちた」の追及で、保育士不足の問題がクローズアップされているが、山形保育園の体制は今後保育士不足になる恐れはないのか。不足にならないように何か策を講じているのか。また現在働いている保育士の処遇改善などを考えているのか。

A 村長 保育士確保に向けた村独自の対策は行なっていないが、

今後現場の状況に応じて確保していきたいと考えている。処遇改善の考えについては、保育士としてのスキルアップを図れるような研修会への参加、パソコン導入による事務量の負担軽減など施設面での充実を通じて、意欲をもって働いていただけるような職場環境づくりを進めていく。報酬・賃金については、社会情勢や近隣市町村の状況を勘案しながら対応していきたい。

その他に職員のストレスチェックについて質問した。

「第5次山形村総合計画」後期基本計画策定に向けて

村長 古き良さを残し、新しい流れを村取り入れ舵取りをしていきたい



大月 民夫 議員

「第5次山形村総合計画」は、来年度は前期基本計画の最終年度を迎え、同時に後期基本計画の策

定作業着手の年となる。

村民ニーズを盛り沢山取り込んだ後期の計画を目指し何う。

Q 総合計画審議会設置の時期は。

A 村長 平成29年度に入ってから速やかに設置する。

民有空地の環境保全是は村としての体制を強化



三澤 一男 議員

Q 空き家対策特別措置法が施行されたが、村は所有者や、現状把握をどのように行ない指導

を行なっているか。

A 村長 今年度中に、空き家の現状把握、台帳整備を行なう。今までの指導は行なつてこなかったが、今後増加が見込まれることを考慮し「空き家等対策計画」の策定をするなど考えていきたい。

Q 審議会委員の構成は。

A 村長 学識経験者、有する者、公募による者、関係行政機関及び団体の代表者、村長が必要と認める者から、25名以内で組織する。

Q 村民ニーズの把握は。

A 村長 村民の満足度を調査する「意向調査アンケート」を実施予定。

パブリックコメントは認知度が低く、意見をいただけない場合もあった。地域のニーズを吸い上げ

Q 所有者の管理に関する条例制定の考えは。

A 村長 先進地の事例を参考にしながら、検討研究していきたい。

除雪サービスの向上について

Q 村は区や連絡班が要する金額の3割以内、50万円を限度に補助金を交付する予算を計上しているが申請状況は。



られるよう、手法を工夫したい。

Q 村長の行政運営への情熱と意欲をお聞かせ願いたい。

A 村長 世の中の政治・経済が、国際化も含め大きく変わってきている。古き良さを残し、新しい流れを取り入れて、世の中に遅れないように「舵取り」をしていきたい。

その他に、「公共施設等総合管理計画」の策定委託の進捗状況を伺い、情報開示を要望した。

A 村長 現時点での申請は無い。

今後、地域の助け合い活性化の予算は積極的に周知をしようとする。

村長の次期統投の有無を伺う

村長 私の意志は統投である



上条浩堂議員

Q 村長の次期統投の有無を伺う。

A 村長 私の意志は統投であるが、残りの行政をきちんと仕上げ、後援会の皆さんとも相談をして、今後の方針は12月に申し上げたい。現状の課題は山積みで、ようやく行政の仕組みと

旧エコープ等の撤退後 不便になったなどの意見がある

村長 現在のところ跡地利用計画は考えていない



西牧一敏議員

Q 役場前の横断歩道板、カーブミラー設置等の交通安全・案内看板の整備は、まだ不十分と思うが。

A 村長 交通安全については、道路交通法に則り適切な方法をとっているが、安全喚起の観点から何らかの方法を検討する。トイレの看板については、交通安全上掲示するのは難しい。

Q 役場を中心に活気のある、住みやすい村作りを考えていないか。

A 村長 現在のところ開発は考えていない

首長の役割が見えてきた状態だ。日本一明るく元気な村づくりへの道のりはスタートしたばかりで、もう少し明快な道すじをつけたい。

ふるさと納税企業版について

Q ふるさと納税企業版が今年始まったが、村の対応を伺う。

A 村長 自治体が進める地域再生事業を内閣府の認定を受けた後、企業の賛同を受ける制度と認識している。補助金や一般財源以外の新たな財源と考え、検討・研究しながら山形村の地域再生事業に賛同していただく企業を沢山申し出ていただけるといい。魅力ある計画づくりをしたい。

Q 高齢者、障害者の住みやすい村作りは。

A 村長 福祉バスの利用しやすい活用を考えている。また高齢者の運転免許返納のサポートについては、中南信交通安全センター等の相談窓口を紹介している。

Q 遊休農地活用について、ビュートイ&ヘルシー事業の進捗状況は。

A 村長 委員会は16名にて構成されている。今年のアマニの収穫も終わり、今後採算性や

Q 進める地域再生事業を内閣府の認定を受けた後、企業の賛同を受ける制度と認識している。補助金や一般財源以外の新たな財源と考え、検討・研究しながら山形村の地域再生事業に賛同していただく企業を沢山申し出ていただけるといい。魅力ある計画づくりをしたい。

Q 災害時の避難方法や避難場所の周知は、どのように考えているのか。

A 村長 アパートや連絡班未加入世帯の方々によくわかる掲示板や看板等の充実を図っていく。

Q 企業防災に関して、村はどのように考えているのか。

A 村長 企業防災マニュアル等の推奨や推進は考えていないが、防災意識向上のため、企

山形村の農業改革について

村長 農業後継者の確保 国の施策に基づき実行



赤羽千秋議員

Q 日本再構戦略をどのように利用して、今後の山形村の農業改革を行なっていくか。

A 山形村は農業を基幹産業として発展してきた。長芋、スイカ、ネギ、りんごなど多品目の農産物を栽培しており、県下有数の野菜生産地となっている。農業者の高齢化や後継者不足、また労働力不足等課題が生じてきている。山形村では生産基盤の整備、農地の流動化、効率的な担い手の規模拡大、農業後継者の確保など、国の施策に基づき実行できる具体策により解消していきたい。

業と連携を進めていく考えである。

その他に、山形村地域防災計画の実行性について質問した。

A 村長 第2次安倍内閣が掲げる成長戦略である。その1つの課題として「攻めの農林水産業の展開と輸出力の強化」がある。「地域で頑張る農業者の所得を増やす」ことを国の農業改革のキーワードとしている。山形村は農業を基幹産業として発展してきた。長芋、スイカ、ネギ、りんごなど多品目の農産物を栽培しており、県下有数の野菜生産地となっている。農業者の高齢化や後継者不足、また労働力不足等課題が生じてきている。山形村では生産基盤の整備、農地の流動化、効率的な担い手の規模拡大、農業後継者の確保など、国の施策に基づき実行できる具体策により解消していきたい。

県道・村道の縁石周辺の草退治は

村長 県道は建設事務所に依頼



竹野入恒夫 議員

百瀬村長が、「日本一明るく元気な村づくり」のスローガンを掲げて、村政の経営に携わり3年6ヶ月が経った。はたしてスローガン通りの村に、発展しただろうか疑問だ。「じゃんずら」の花火の縮小等、言葉がよくない元氣の後退だ。山形村の村内を見てみると、合併をして置き去りにされた旧村・廃村寸前の村のように、いたるところに雑草が茂っている。特に県道・村道の歩道の縁石の周辺の雑草が目立つ。百瀬村長に就任してから特に目立つようになった。課長会議や80人の職員からの提言・行動がないままに秋を迎えようとしている。山形村の最大のイベント「じゃんずらの花

火大会」を、帰省客や、村外からも花火を見ようと訪れる人達に、花火を提供する村とし「おもてなし」の心が、見当たらない。

Q 県道・村道の縁石周辺の雑草退治はどうするのか。

A 村長 歩道のある村道3路線とグリーン道路の一部について4月の下旬と6月中旬除草剤の散布と草刈りを行っている。除草剤散布路線、草刈り実施路線の延長は、村道分が4.4キロ。県道は、建設事務所対応が追い付かず、村道の除草作業時に合わせて、歩道箇所を中心に3路線計6.6キロの区間で実施した。7月・8月は除草作業ができなかったため、9月に実施予定だ。県道の歩道部分は、建設事務所に除草の依頼をしている。

その他に、山の日・新入職員について質問した。

業務継続計画が無いと 防災計画は動かない

村長 災害対応を適切に行うための必要性は承知している



増澤武志 議員

大規模地震が発生した場合、ライフラインや交通機関が停止し役場庁舎や職員自身も被災する。このため、平常時の職員数や執務環境で業務を行うことが困難となり、地域防災計画に定めた災

Q 本計画の必要性について、村の基本的考え方を伺う。

害対策も実施できないと思われる。そこで「業務継続計画（BCP）」の策定が必要となる。内閣府は小規模町村のための作成ガイドを作り策定を推進しているが、長野県内では7市1町1村しか作成されていない。

清水高原一帯の観光と 整備について

村長 村民の意見を聞きながら積極的に進める



籠田利男 議員

Q 西山、山裾のウォーキングコースに関

する健康寿命延伸事業実行委員会の進捗状況は。
A 村長 健康寿命延伸事業実行委員会を6月に立ち上げ、村民の健康寿命延伸に向けての具体的な取り組みをして

A 村長 必要だといふことは十分承知している。

Q 本計画と防災計画との整合性は。

A 村長 現在、防災計画では業務継続計画について触れていない。今後防災計画の見直しの際、整合性を図っていく。

Q 国が示した指針の中身は。

A 村長 必ず定める要素が6つある。①首長不在時の代行順位②庁舎が使用できなくなつた場合の代替庁舎③電気、水、食料等の確保④多様な通信手段⑤重要行政デ

ータのバックアップ⑥非

いる。前回の会議の際に実際のコースを見ていただき、今度の4回目会議でコースの設定について意見をいただく予定となっている。

Q 清水古道を整備する予定について。

A 村長 古道の保全、活用のあり方については、今後考えていく必要がある。史談会の皆様の意見等も十分聞きながら検討していきたい。

常時優先業務の整理、以上を予め定めておくもの。

Q 本計画は、いつ地震が起こってもおかしくない本県において、喫緊の課題と思うが、いつまでに作るのか。

A 総務課長 平成29年度の早い時期に着手したい。

内閣府は、計画を策定するにあたって、「首長自らがリーダーシップを発揮して取り組まなければうまくいかない」と述べている。村長は2期目を目指すと表明されたが、村民の安心安全のため、是非取り組まれない。

Q 清水寺の修復工事の寄付の現状は？

A 村長 保存会によると清水寺の寄付は現在3百31万円となっている。

その他に、スカイラン

ドきよみずの指定管理料について、清水高原一帯の観光ルートに清水古道を利用した南ルートについて質問した。

「新総合事業」の影響は

村長 要支援者へのサービスは低下させない



大池 俊子 議員

Q 介護保険の見直しで、要支援向けの「訪問介護」と「通所介護」が介護保険の対象から市町村事業に移るが、要支援者のサービス利用の実態は。

A 村長 平成28年6月現在で、訪問介護は9人、通所介護が16人となっている。

二次予防事業では、昨年は膝腰元気教室や歯科訪問指導等に84人、一次予防事業では栄養指導教室に66人が参加した。

村社協に登録し活動しているサロン数は15団体である。

Q 「新総合事業」移行後のサービス整備予定は。

A 村長 国の基準に基づき検討している。年内には決定し、決まり次第住民の皆さんや関係者に周知する。

Q 「新総合事業」の基本的な考え方と課題は。

A 村長 市町村が中心となって多様なサービスを充実させたいが、サービス内容等で市町村ごとに地域間格差等が発生することが懸念される。「介護予防サポーター」の育成は今後の課題として検討したい。

その他に、コミュニケーションスクールの発展について質問した。

議会 会 日 誌

7月

- 1日 東筑摩郡議員交流会(筑北村)
- 5日 篠ノ井線松本地域活性化協議会定期総会(安曇野市)
- 7日 鉢盛中学校組合議会第1回臨時会(朝日村)
- 13日 議会広報編集特別委員会
- 14日 朝日村・山形村議会議員研修会(朝日村)
- 15日 福祉文教常任委員会
- 19日 松本広域連合議会第1回臨時会(松本市)
- 20日 松本広域連合議会第1回臨時会(松本市)
- 21日 第4回山形村議会臨時会
- 25日 長野県町村議会議員研修会(松本市)

8月

- 1日 鉢盛中学校組合議会第1回臨時会(朝日村)
- 2日 議会広報編集特別委員会
- 3日 朝日村・山形村議会議員研修会(朝日村)
- 4日 福祉文教常任委員会
- 6日 松本広域連合議会第1回臨時会(松本市)
- 10日 清水高原健康休養地管理組合理事会
- 12日 総務産業常任委員会
- 15日 松本広域連合議会第1回臨時会(松本市)
- 17日 夏祭り山形じゃんずら
- 18日 総務産業常任委員会
- 23日 福祉文教常任委員会
- 24日 松本広域施設組合環境保全会
- 31日 松本空港線整備促進期成同盟会(松本市)

9月

- 2日 松本地域正副議長懇話会(松本市)
- 3日 道祖神と新そば祭り実行委員会
- 4日 アレチウリ駆除研修会
- 6日 道祖神と新そば祭り幹事会
- 13日 地震総合防災訓練
- 14日 総務産業常任委員会
- 16日 福祉文教常任委員会
- 21日 敬老会
- 23日 議会広報編集特別委員会
- 24日 小学校運動会
- 27日 山形じゃんずら実行委員会
- 28日 議会運営委員会視察(小布施町)
- 29日 鉢盛中学校白峰祭
- 30日 議会運営委員会

10月

- 5・6日 松本広域連合視察研修
- 7日 松塩地区広域施設組合議会運営委員会(松本市)
- 8日 やまのこ保育園運動会
- 13・14日 福祉文教常任委員会視察研修
- 17・18日 総務産業常任委員会視察研修
- 19日 鉢盛中学校議会第1回定例会(トレン)
- 21日 松塩地区広域施設組合議会10月定例会(松本市)
- 25日 議会運営委員会
- 26日 泉町村議定会定期総会(長野市)

議会「傍聴」に、お出掛けください

12月に休日議会を開催します

議会は年4回の定例会毎に、行財政全般にわたって執行機関に対し、村民の皆さんの意向を代弁しながら説明を求め、または所信をたずね、「一般質問」を行なっております。「開かれた議会」を目指す第一歩として、来たる12月定例会には初の試みとして休日に一般質問を実施いたします。ご都合いただけます時間帯だけでも構いません。是非お気軽に役場2階の議場までお出掛けください。詳細につきましては後日ご案内申し上げます。

【開催日】
12月11日(日曜日)
☆午前の部 9時開会
☆午後の部 1時再開
議会運営委員長 (大月 民夫)





私と山形村

小山京子

(小坂)

山形村の地へ移り住み
早いもので31年が過ぎま
した。

思えば31年前の
4月、長女の出産日と引
越日が重なり、あわただ
しい毎日を送っていたこ
とを覚えております。そ
んな時、早朝障子窓の外
から聞こえてくるカッコ
ウのリズミカルな鳴き声
に癒されました。近所
の方々が親切で温かく、い
ろいろ教えてくださった
り、季節のお野菜をくだ
さったりと、初めての地
でも、すんなりと地域に
とけ込むことができました。

ます。2人の子を育てな
がら、ナイターソフトバ
レーボールに参加したり、
エポック館で、リンゴジ
ュース、味噌や豆腐、ケ
チャップ作りをやらせて
いただきました。何と言
ってもケチャップは、シ

ーズン中2回作ります。
大釜で煮詰められるトマ
トは近所の農家さんにお
願いし、分けていただき
ます。出来上がったケチ
ャップを毎年楽しみに待
っている知人や、親せき
へ送るのも私の喜びです。
山形村の人々や、エポッ
ク館があることに感謝の
気持ちでいっぱいです。
これからも、いろんな
ことにチャレンジして、
「日本一明るく元気な
村」の一員として励みた
いと思います。



「食」で 元気をPR

三村文代

(上大池)

たので反省です。

山形村農村生活マイス
ターとして活動するよう
になり、いろいろな経験
をさせていただいていま
す。

ふるさとプロデュース
育成事業では研修生のひ
とりに「山形村のマイス
ター」という専門家なの
に自分たちの作っている長
芋のこと、他の産地との
違いや特性を知らない
という事実を知って少し
ショックでした。」と言
われてしまいました。今ま
で自分の畑でとれた長芋
しか食べたことがなかつ

2月には銀座NAGA
NOに行つて長芋料理を
紹介してきました。とろ
ろ以外にいろいろな食
べ方があることを知るこ
とができたことと喜んで
もらえました。

忙しいで大変なことも
たくさんありますが、こ
のように村外の人たちか
らいろいろな意見を言
っていたことはとても
良い機会となりました。
これからもワクワクし
ながら、チャレンジして
いきたいと思っています。

旬の味

築地市場の江東区豊洲への移転問題で、「土壌汚
染は盛り土をするので安全」はウソだった。土壌汚
染対策や建設費高騰、談合疑惑など、そして何より
「食の安全・安心」をゆるがす大問題となっている。

また、公金を飲み食いを使い、領収書を偽造改
ざんする手口は会派ぐるみで引き継がれ、富山県・
市議の政務活動費の不正取得が後を絶たず、山形県
でも発覚、一大政治腐敗事件へと発展している。

発端は、今年6月の富山市議会で、議員報酬を
月10万円一気に引き上げる条例を市民の反対を押し
切つて強行したこと。この問題を取材中の地方紙女
性記者を押し倒し、取材メモを奪う前代未聞の事件
に市民の憤りが沸騰し追及が始まった。

議員は、住民と同じ目線で日常の活動ができ、
政治を手エックし住民の願いを実現するのが本来の
役割であり、住民に奉仕する自覚があれば、こんな
不正は起こらないと思う。
(山形村は議員の政務活動費は無い。) 大池 俊子

政務活動費

※議員の政策立案に向けた調査研究などの
活動のため支給される費用

山形村議会は全額「自己負担」

富山市議会をはじめ全国各地で「政務活動費」の不正受給が
発覚しております。公私混同も甚だしい重大な犯罪と言わざる
を得ません。もっと厳罰に処すべきと強く訴えたい。

山形村議会は、議員それぞれが広範囲で活動を展開しており
ますが、活動費用は全額自己負担としております。

キャッチボール



私の一言

今では、ここで生まれ
育つたような錯覚を覚え

編集後記

9月定例会一般質問で百瀬村長が次期村長
選挙に立候補することを明言した。1期目の
最終年度が残り半年となり、村長の掲げた事
業の成果が問われる。

村長が成果として挙げたのは、大池原・東
原地区農排水事業の進展だ。村長を麻生財務
大臣に引き合せた地元代議士の後押しがあつ
た。また、京都清水寺の森清範貫主と阿部知
事との関係も背景のひとつか。

日本一元気な村作りを掲げたが、掛け声側
れとの指摘も多い。「村民の意見を聞いて。」
と言うが、「他人任せ」で政策が見えない。
リーダーシップの欠如を問う議員もいた。

役場職員をリードする手綱さばきはどうか。
今議会は、平成27年度決算を審査認定し
た。健全財政を維持、推進していることは評
価する。しかし、村民が望む、時代に即応し
た事業は？投資は？何もしなければ財政は安
泰だ。思い切った投資もすべきた。

(籠田 利男)

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 籠田 利男 |
| 副委員長 | 小林 武司 |
| 委員 | 新居 禎三 |
| 〃 | 増澤 武志 |
| 〃 | 大月 民夫 |
| 〃 | 平沢 恒雄 |